第 64 号

西中の風

~『信頼と笑顔、品位を備えた成長』 ~

伊丹市立西中学校長

豊田 實

入学式 式辞(抜粋)

平成26年4月9日

保護者の皆様、お子様のご入学を心からお祝い申し上げます。本校教職員は義務教育終了まで教育活動に精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

新入生の皆さん、今日から中学生です。ご入学お めでとうございます。今、皆さんはどのような気持ちで記念すべきセレモニーに臨んでいますか。上級 生である三年生、二年生のお兄さん、お姉さんの歌 、国歌と校歌の合唱を聴いた感想はいかがでしょ うか。力強くおごそかで、心が引き締まりますね。 西中学校では、上級生の行動力が皆さんのお手本に なることがたくさんあります。先月には、校区小学 校である稲野小学校と摂陽小学校へ中学三年生たち が、六年生だった皆さんの教室を訪問しましたね。 彼らのチームワークによる英語出前授業を受けたこ とは覚えているでしょう。堂々と、やさしく、目と 目を合わせて英会話を教える中学生のお兄さんお姉 さんたちの姿は頼もしく見えたことでしょう。小学 校を卒業してから三年後、立派な中学生に成長して いる彼らの姿をみた小学校の先生方はたいそう喜ん でおられました。新入生の皆さんは、このお話を自 らにあてはめて考えてください。小学校の先生方は、 涙を浮かべられて、期待を込めて大事に育てた君た ちを中学校へ送り出されたのです。もっと以前には、 君たち一人一人に幼稚園、保育所の先生方が温かく ふれあって育ててこられたのです。皆さんのこれま での生い立ちである十二年間、ご家族や先生方が愛情を注いでこられたのです。



本校の先生方は、君たちの義務教育終了までの生活を充実させようと心に決めています。教育活動を進める上での合言葉は、「信頼と笑顔、品位を備えた成長」です。「信頼」は、私にとって揺るぎないキーワードです。全校生徒一人一人が自信を持った





 るよう励まします。自ら進んで事をなす人になることが、将来、皆さんの考えている生き方や希望する 職業に就くことに近づくのです。そして、健康に過 ごして学校を休まないことが大切です。

しっかりとした人は、約束を守れる人です。具体的なことを一つお話しします。先生から受け取んだします。日本のようにおいて見ないとでするもののは決められたが見てもらうとです。というというという。というないは、後季な仲間に育ったこと、体験したことをお家の人にないます。というないでは、

教室で学習したことをお家の人に教室で学習したことをお家の人にお話したことをお家の人におきます。は大学を観り、で学校へ来がないには、で学校で学校である。とは、がないではないではないでは、では、のでは、では、おりでで、おりでで、おりでで、、た生たち、大きなるのです。

本校では、学校情報は、インターネット並びに通 信プリント配布などで、ていねいに発信することに 心がけています。本校のホームページには反響があ り毎日かなりのアクセス数があります。ご覧いただ いているご家庭は、実に四十五パーセントを超えま した。行事記録だけにとどまらず、高校進学など進 路指導に関する情報、教員の授業準備である計画書、 トピックで教育活動事前情報をご覧になることがで きるよう努めておりますので、ぜひ、ご確認くださ い。本校では皆でつくり上げるものを大切にします。 一人一人の成長を大切にした集団行動を追求しま 。協力や努力による感動を体験すること、粘り強 、知識を吸収する能力を生徒たちの身に付けるこ とが幸せな人生を送るための基盤となります。お父 さん、お母さんの笑顔と励まし、教師が深い洞察力 で子どもの「琴線にふれるかかわり」をすることは 子どもに自尊感情という「心の糧」を培います。 いつでも、どこでも、本校の生徒たちに出会えば

多くの皆様に微笑んでいただけるよう、さわやかな 「西中の風」にふさわしい素直な心と行動力を伴っ

た生徒たちの活躍を期待しております。



【離任の職員】9名

村田文生 主幹教諭 荒牧中学校へ 横内 愛 教諭 東中学校へ 佐和子 教諭 笹原中学校へ 田 砂場拓也 教諭 姫路市立坊勢中学校へ 教諭 家岡将之 東中学校へ 川島大輔 教諭 三木早織 教諭 東中学校へ

【着任の職員】11名

教諭 東中学校から 川上 教諭 北中学校から 山口恭子 山上 明 笹原中学校から 主幹教諭 荒牧中学校から 鹿島一輝 教諭 河野智文 教諭 天王寺川中学校から 横地 綾 教諭 中辻紘生 教諭 西川昇志 教諭 吉川進一 技能員 安來純子 読書指導員 島田磨美 介助員



PTA会長、執行部役員から離任職員にごあいさつ

